

Title	表紙ほか
Author(s)	
Citation	日本外科宝函 (1941), 18(1)
Issue Date	1941-01-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/205235
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

ARCHIV
FÜR
JAPANISCHE CHIRURGIE
XVIII BAND, 1941

日本外科寶函

第 18 卷
帝國大學

昭和 16 年

INOKO-ITO-VEREIN,
KAISERLICHE CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK,
KYOTO, JAPAN.

京都帝國大學醫學部外科學教室內
日本外科寶函編輯室
(猪子・伊藤兩教授記念會)

日本外科實函 第18卷 (昭和十六年)

總 目 次

原 著			
人體ニ發生セル腫瘍ノ「インペデン」現象……………	徐 丙 守	(1)	
放射線ニ依ル「オプソニン」ノ增強			
第1報 放射線ニ依ル流血中「オプソニン」ノ增強……………	豐 田 貞 藏	(22)	
第2報 紫外線ニ依ル流血中「オプソニン」ノ增強……………	豐 田 貞 藏	(35)	
第3報 赤外線ニ依ル流血中「オプソニン」ノ增強……………	豐 田 貞 藏	(44)	
第4報 超短波ニ依ル流血中「オプソニン」ノ增強……………	豐 田 貞 藏	(52)	
第5報 種々ナル放射線ノ照射ニ依ル健常家兎局所皮内「オプソニン」ノ增強……………	豐 田 貞 藏	(64)	
第6報 「ラドン」軟膏ニ依ル局所皮内「オプソニン」ノ增強……………	豐 田 貞 藏	(75)	
Locus minoris resistentiae ノ抗感染力ヲ指標トスル局所性免疫ト全身性免疫トノ差別及ビ兩者ノ關係ニ就テノ研究			
第1報 免疫前處置後 24 時間目ノ家兎ニ於ケル局所性及ビ全身性免疫ノ比較……………	山 田 評 吉	(81)	
第2報 免疫元靜脈内注射家兎ニ於ケル L. m. r. ノ抗感染力ノ時間的推移……………	山 田 評 吉	(109)	
第3報 免疫元軟膏ノ L. m. r. 感染豫防作用ニ關スル菌種族特殊性ノ吟味……………	山 田 評 吉	(139)	
第4報 L. m. r. ノ感染ヲ豫防シ得ル免疫元軟膏ノ最適貼用時間……………	山 田 評 吉	(154)	
第5報 局所組織細胞内動員抗體ノ血中移行ニ就テ……………	山 田 評 吉	(164)	
第6報 同名既往反應ヲ以テセル局所性軟膏免疫個體ノ局所性及ビ全身性組織自働免疫獲得程度ノ比較……………	山 田 評 吉	(176)	
第7報 局所性軟膏免疫動物ニ於ケル同名及ビ異名既往反應ニヨル L. m. r. ノ抗感染力並ビニ血中特殊溶容素ノ吟味……………	山 田 評 吉	(194)	
經肛免疫ノ研究			
第1報 腸「チフス」菌「コクチゲン」ノ皮下注射法ト經肛注入法トニ於ケル全身免疫獲得程度ノ比較……………	鳥 渴 高 城	(267)	

- 第2報 皮下注射免疫法ニヨリテ獲得セラレ得ル最大全身免疫程度ニ立脚ス
 ル腸_Lチフス₇菌_Lコクチゲン₇ト_Lワクチン₇トノ比較……鳥 潟 高 城 (292)
- 第3報 經肛免疫法ニヨリテ獲得セラレ得ル最大全身免疫程度ニ立脚ス
 腸_Lチフス₇菌_Lコクチゲン₇ト_Lワクチン₇トノ比較……………鳥 潟 高 城 (315)
- 第4報 經空腸免疫法ニヨリテ獲得セラレ得ル最大全身免疫程度ニ立脚ス
 腸_Lチフス₇菌_Lコクチゲン₇ト_Lワクチン₇トノ比較……………鳥 潟 高 城 (333)
- 第5報 腸_Lチフス₇菌_Lワクチン₇ノ構成因子タル_L基液₇ト_L菌液₇トノ經肛免
 疫ニ於ケル免疫效果ノ比較……………鳥 潟 高 城 (352)
- 第6報 腸_Lチフス₇菌_L原_Lワクチン₇, 基液煮沸_Lワクチン₇及ビ煮沸基液ヲ以
 テセル經肛免疫效果ノ比較……………鳥 潟 高 城 (367)
- 第7報 腸_Lチフス₇菌_Lコクチゲン₇又ハ_Lワクチン₇ヲ以テセル經肛免疫法ニ
 依リテ後天性免疫ノ獲得マデニ必要トスル期間ニ就テ…鳥 潟 高 城 (384)
- 第8報 腸_Lチフス₇菌_Lコクチゲン₇ヲ以テセル經肛免疫家兎ノ流血中ニ動員
 セラルル凝集素ノ特殊性ノ吟味……………鳥 潟 高 城 (395)
- 第9報 黃色葡萄狀球菌_Lコクチゲン₇ヲ以テセル經肛免疫家兎ノ各種組織細
 胞内特殊_Lオプソン₇ノ產生ニ就テ……………鳥 潟 高 城 (404)
- 第10報 經肛免疫ニ於テ局所直腸壁ノ如何ナル層ガ特殊_Lオプソン₇ヲ產生
 スルカ……………鳥 潟 高 城 (417)
- 第11報 黃色葡萄狀球菌_Lコクチゲン₇ヲ以テセル經肛免疫ニヨル特殊_Lオプ
 ソン₇ノ血中產生並ニ血中抗体ノ生産母地ニ就テ ……鳥 潟 高 城 (421)
- 睪丸中ニ於ケル抗体ノ產生
- 第1報 健常睪丸中ニ於テ大腸菌増容素ガ產生セラル、
 ヤ……………高 秉 幹 (433)
- 第2報 睪丸内最大増容素產生ニ要スル時間ノ決定……………高 秉 幹 (452)
- 第3報 睪丸内最大増容素產生ニ要スル抗原量ノ決定……………高 秉 幹 (455)
- 第4報 睪丸内產生抗大腸菌増容素ノ特異性ニ就テ……………高 秉 幹 (457)
- 第5報 經睪丸免疫ニヨル血中產生増容素ニ就テ……………高 秉 幹 (463)
- 第6報 血清増容反應ヲ指標トセル經靜脈免疫ト經睪丸免疫ト
 ノ比較……………高 秉 幹 (467)
- 第7報 睪丸免疫動物ニ於ケル全身性抗体動員作用ノ吟
 味……………高 秉 幹 (476)
- 各種消毒藥ノ白血球喰菌作用ニ及ボス影響及ビ消毒劑ト喰爐細胞
 トノ共同作用ニ就テ……………藤 岡 十 郎 (511)

レ線「キモグラフィ」=依ル陳舊性膿胸患者ノ横隔膜及ビ肋骨運動並

=之ニ及ボス洗滌、胸廓成形術ノ影響=就テノ研究……………横 田 清 雄 (539)

陳舊性膿胸患者ノ氣管支像=就テ……………横 田 清 雄 (557)

腰部椎體後面邊緣隆起像=就テ……………山 田 憲 吾 (615)

結核性脊椎炎流注膿瘍ノ統計的調査成績=就テ……………山 田 憲 吾 (624)

代償性機能ヲ營ム肺臟ノ抗體產生=關スル實驗的研究

第1報 正常肺臟及ビ代償性機能ヲ營ム肺臟中ニ產生セラレタ抗結
核菌増容素ノ立證……………市 川 博 信 (632)

第2報 正常肺臟ノ局所性及ビ全身性抗結核菌増容素產生ノ時間的
推移……………市 川 博 信 (650)

第3報 代償性機能ヲ營ム肺臟ノ局所性及ビ全身性抗結核菌増容素
產生ノ時間的推移……………市 川 博 信 (671)

第4報 既往反應=ヨル正常肺臟ノ局所性並=全身性能働免疫性ノ
吟味……………市 川 博 信 (693)

第5報 既往反應=ヨル代償性機能ヲ營ム肺臟ノ局所性並=全身性
能働免疫性ノ吟味……………市 川 博 信 (703)

第6報 產生抗體ノ菌種特殊性=就テ……………市 川 博 信 (713)

淋菌「コクチゲン」軟膏=依ル免疫學的研究

第1報 淋菌「コクチゲン」軟膏24時間貼用局所皮膚=於ケル「オプ
ソン」ノ立證……………涌 島 文 雄 (755)

第2報 淋菌「コクチゲン」軟膏貼用時間ト局所皮内產生特殊「オプ
ソン」量トノ關係……………涌 島 文 雄 (766)

第3報 淋菌「コクチゲン」軟膏免疫家兎ノ血中=於ケル特殊「オプ
ソン」ノ推移……………涌 島 文 雄 (770)

第4報 淋菌「コクチゲン」軟膏ト生・煮淋菌「ワクチン」軟膏トノ比
較……………涌 島 文 雄 (775)

第5報 各種淋菌免液元軟膏ノ達成シ得ル血中產生最大抗淋菌「オプソン」
値=立脚スル免疫元效力ノ比較、並=免疫元ノ用量ト免疫效果トノ相互關
係……………涌 島 文 雄 (783)

第6報 淋菌「コクチゲン」軟膏ニヨリ產生セル血中「オプソン」
ノ特殊性……………涌 島 文 雄 (788)

第7報 同一同量ノ淋菌「コクチゲン」ヲ皮下又ハ靜脈内ヘ注射シタル場合ト
軟膏トシテ皮膚ニ貼用シタル場合トノ比較……………涌 島 文 雄 (791)

辜丸内產生抗黄色葡萄狀球菌増容素ノ研究

- 第1報 黄色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷實質内注射ニヨル辜丸内増容素ニ就テ……………鬼 束 惇 哉 (796)
- 第2報 辜丸實質内注射免疫元量ト當該辜丸内產生増容素量トノ關係……………鬼 束 惇 哉 (812)
- 第3報 黄色葡萄狀球菌_Lコクチゲン⁷辜丸實質内注射ニ依ル血中増容素ノ増強ニ就テ……………鬼 束 惇 哉 (815)
- 第4報 免疫辜丸實質内注射ニ依ル血中増容素ノ產生及ビ其ノ母地ニ就テ……………鬼 束 惇 哉 (820)
- 第5報 辜丸内產生抗黄色葡萄狀球菌増容素ノ特異性ニ就テ……………鬼 束 惇 哉 (823)
- 第6報 免疫辜丸ノ増容素動員能力ニ就テ……………鬼 束 惇 哉 (830)

沃度油腦室撮影法

- I 沃度油腦室撮影法ニ關スル一般的基础的事項……………淺 野 芳 登 (885)
- 結核菌増容反應_Lイムペデン⁷現像……………鬼 束 惇 哉 (918)
- 耳下腺損傷ト尿中_Lデアスターゼ⁷……………鬼 束 惇 哉 (931)
- レ線照射ニ依ル局所並ニ全身性抗感染力ノ増強

- 第1報 レ線照射ニ依ル局所組織内_Lオブソニン⁷ノ増強ニ就テ……………安 江 高 助 (943)
- 第2報 レ線照射ヲ受ケタル肺臓内_Lオブソニン⁷ノ増強……………安 江 高 助 (956)
- 第3報 右大腿レ線照射ニ依ル血中_Lオブソニン⁷ノ増強……………安 江 高 助 (964)
- 第4報 表皮レ線照射ニ依ル血中凝集素並ニ増容素ノ増強……………安 江 高 助 (980)

肺臓實質内ノ抗體產生ニ及ボス神經作用ニ就テ

- 第1報 家兎肺臓實質内ニ最大量ノ抗黄色葡萄狀球菌増容素ヲ產生セシムルニ必要ナル黄色葡萄狀球菌煮沸免疫元ノ注射量……………小 龜 正 雄 (989)
- 第2報 家兎肺臓實質内ニ產生セラレタル抗黄色葡萄狀球菌増容素ノ時間的推移ニ就テ……………小 龜 正 雄 (1001)
- 第3報 交感神經作用ヲ遮斷シタル場合ノ増容素產生……………小 龜 正 雄 (1007)
- 第4報 迷走神經作用ヲ遮斷シタル場合ノ増容素產生……………小 龜 正 雄 (1014)
- 第5報 交感神經及ビ迷走神經ノ兩作用ヲ同時ニ遮斷シタル場合ノ増容素產生……………小 龜 正 雄 (1021)
- 第6報 横隔膜神經作用ヲ遮斷シタル場合ノ増容素產生……………小 龜 正 雄 (1028)
- 第7報 牛型結核菌ノ肺臓感染ニ及ボス神經作用ノ影響……………小 龜 正 雄 (1034)

臨 床

辜丸腺癌ノ1例ニ就テ……………	{松 山 信 夫 李 應 洸}	(229)
先天性皮膚肉腫症ノ1例……………	{李 山 應 洸 松 山 信 夫}	(234)
「マストパチー」ノ3例……………	山 田 憲 吾	(240)
術後全身轉移ヲ來セル後腹膜腔性 Hypernephrom ノ1例、特ニソノ 「イムペヂン」現象ノ立證ニ就テ……………	渡 邊 三 喜 男	(487)
Rosenstein 氏様症候ト結腸周圍炎性膜様物質特ニ其ノ外科的意義ニ就 テ……………	松 田 孫 一	(574)
轉移性急性脊髓膜外膿瘍ノ3例……………	{芋 坂 直 彦 本 庄 一 夫}	(585)
骨轉移ヲ來セル原發性肝臟癌ノ1例……………	山 田 憲 吾	(837)
陳舊性膿胸患者ノ電氣心働圖及ビ之ニ及ボス胸廓成形術ノ影響ニ就テ 第1報 陳舊性膿胸患者ノ電氣心働圖ニ就テ……………	{清 水 三 郎 横 田 清 雄}	(862)
第2報 陳舊性膿胸患者ニ於ケル胸廓成形術ノ電氣心働圖ニ及ボス 影響ニ就テ……………	{清 水 三 郎 横 田 清 雄}	(870)

臨 床 レ 線 學

外科的疾患ノレ線診斷トソノ手術所見 (4)……………	藤 浪 修 一	(719)
----------------------------	---------	-------

小 臨 床

化膿性骨髓炎患者ニ於ケル ¹⁴ C消耗——化膿性骨髓炎ノ成因ニ關ス ル Härtel-桑波田-小澤氏說ニ對スル反證——……………	村 上 治 朗	(497)
單房性巨大脾臟囊腫ノ1例……………	藤 岡 十 郎	(610)
椎間板後方脫出症ニ就テ……………	山 田 憲 吾	(723)
矢狀溝外腫瘍診斷上ノ注意……………	倉 彦 市	(723)

臨 床 瑣 談

稀有ナル消化管畸形ニ由來シタ十二指腸閉塞症……………	藤浪修一, 陳 春財	(501)
交通外傷ノ統計的觀察……………	小 寺 壽 治	(503)

若年者ニ來レル十二指腸潰瘍ノ1例	相川文夫	(504)
腰部脊椎管内靜脈瘤ノ1例	山田憲吾	(506)
結腸癌ニ依ル「イレウス」ノ治療方針	倉彦市	(730)
急性化膿性肋骨骨髓炎ノ1例	後藤邦暢	(731)
軟骨粘液腫ノ1例ニ就テ	八牧力雄	(732)
骨髓炎後死腔ニ對スル筋肉充填法ノ1治療例	趙英奇	(733)
鈍力ニ依ル十二指腸及ビ肝臟破裂ノ豫後並ニ其ノ治療方針	藤岡十郎	(734)
橈骨神經麻痺ニ對スル絹糸縫固定術ニ就テ	小西庄治	(736)
胃潰瘍面ニ大ナル血管開口露出セシ1症例	副島謙	(1043)
細網肉腫 Retikulosarkom ヲ混在セル Sarkomatosis ノ1例	足立道五郎	(1044)
急性膿胸ノ1治療法	房岡隆三	(1046)
結核性肋膜炎ニ對スル外科的療法	趙英奇	(1048)
三叉神經痛ノ本態ニ就テ	林仲琛	(1049)
レ線學的ニ骨萎縮ヲ證明シ得ザリシ骨軟化症ノ1例	倉彦市	(1050)

臨床診斷ト手術所見

淋巴管内被細胞腫ニ依ル直腸狹窄1例	守永幸男	(727)
診斷上興味アリシ腎臟腫1例	渡邊三喜男	(728)
側頭窩骨膜炎	白石貞男	(1053)
「マストパチー」ニ就テ	小田茂	(1055)
胃癌ヲ思ハシメタル慢性脾臟炎ノ1例ト慢性脾臟炎ヲ思ハシメタル結核性腹膜炎ノ1例	稻本晃	(1056)
第四性病ニ依ル直腸狹窄症ノ手術例	竹内信一	(1058)
脊髓瘍腫ノ4例	香山聖進	(1060)

學 會

第51回近畿外科學會(人尾ノ1例, 其他39編)	(250)
第52回近畿外科學會(眞空管ニ依ル單一短型波發生裝置ニ就テ, 其他39編)	(738)
第52回近畿外科學會(低壓ニ關スル實驗的研究, 其他36編)	(1063)

雜 纂

De Quervain 教授ヲ弔フ	マックス・ゼイゲッセル	(877)
-------------------	-------------	-------

De Quervain 教授と Bern への回想	青 柳 安 誠	(879)
京都外科集談會11月例会		(265)
京都外科集談會12月例会		(265)
京都外科集談會 2 月例会		(509)
京都外科集談會 3 月例会		(612)
京都外科集談會 4 月例会		(612)
京都外科集談會 5 月例会		(752)
京都外科集談會 6 月例会		(752)
京都外科集談會 9 月例会		(883)
京都外科集談會10月例会		(1076)
京都外科集談會11月例会		(1076)

人名索引

太字……原著, [イタリック]……臨床, 臨床と線學, 小臨床, 普通……

臨床瑣談, 臨床診斷ト手術所見, ()……學會, ~~~~~雜纂

- | | | | |
|----------|-----------------------------|----------|--|
| A | I | 石野琢二郎 | (751) |
| 足立道五郎 | 1044 | 市川博信 | 632, 650, 671, 693, 703, 713 |
| 相川文夫 | 504 | 伊藤太郎 | (251) |
| 秋山卓三 | (739) | | |
| 青柳安誠 | 879 | K | |
| 荒木千里 | (256), (260), (749) | 陰山以文 | (262), (745) |
| 荒瀬進 | (250), (253) | 笠井重雄 | (254), (257), (743) |
| 淺野芳登 | (259), (744), 885 | 片岡司馬男 | (264) |
| | | 河村謙二 | (751) |
| B | | 河村壽郎 | (741) |
| 木全力 | (746) | 香山聖進 | 1060 |
| | | 木口直二 | (749) |
| E | | 木原倬郎 | (741) |
| 遠藤堅太郎 | (740) | 木村茂 | (747) |
| | | 高乘幹 | 433, 452, 455, 457, 463, 467, 476 |
| G | | 小龜正雄 | (260), 989, 1001, 1007, 1014, 1021, 1028, 1034 |
| 後藤邦暢 | 731 | | |
| H | | 小西庄治 | 736 |
| 原守藏 | (257) | 小寺壽治 | (255), 503, (741) |
| 長谷川美通 | (260), (262), (745) | 倉彦市 | 724, 730, 1050 |
| 早川正己 | (250), (262), (263), (749) | 黑田啓次 | (739) |
| 林秀雄 | (739) | 來須正男 | (254) |
| 平林陸男 | (252) | 桑波田秀枝 | (261) |
| 福島良一 | (749) | | |
| 房岡隆三 | (750), (1046) | M | |
| 富士原晴雄 | (251), (252), (748) | 前島正一 | (254) |
| 藤浪修一 | 501, 719 | 松田孫一 | 574 |
| 藤岡十郎 | (264), 511, 610, 743, (750) | 松永剛毅 | (253) |
| 藤田一雄 | (263) | 松繁薰 | (250) |
| 藤田小五郎 | (252), (253), (744) | 松山信夫 | 229, 234 |
| 本庄一夫 | 585, (746) | 三羽兼義 | (252), (253), (261), (263), (744) |
| 堀昌雄 | (746) | 宮川幹雄 | (743) |
| | | 宮本一男 | (751) |
| I | | 水野祥太郎 | (255), (743) |
| 井福早苗 | (254), (751) | 守永幸男 | 727, (742) |
| 今西三郎 | (261) | 村上俊 | (743) |
| 今津九右衛門 | (261), (262) | 村上治朗 | 497 |
| 稻本晃 | 1056 | 村田良平 | (744) |
| 井上保一 | (262) | 武藤完雄 | (254) |
| 乾愿之介 | (251) | | |

N

長岡浩 (740)
 内藤義郎 (263), (744)
 中川博 (262), (745)
 中江實忠 (743)
 西田菊馬 (743)
 西村敏雄 (264)
 野々下民市 (738)

O

王和成 (264)
 大野健二 (251)
 小田源太郎 (260)
 小田茂 1055
 岡村一雄 (750)
 岡崎藤磨 (739), (742)
 鬼東惇哉 (747), 796, 812, 815, 820,
 823, 830, 918, 931
 苧坂直彦 585, (744)
 小澤凱夫 (256), (259)

R.

李應冽 229, 234
 林仲琛 1049

S

Max Saegesser 877
 榮枝武雄 (252)
 佐藤陸平 (254)
 千頭英男 (260)
 藤承壇 (255)
 斯波貞行 (256)
 鹿嶋健次郎 (256)
 島田由三 (748)
 清水源一郎 (253)
 清水三郎 862, 870
 白石貞男 1053
 副島謙 (747), 1043
 菅野冬雄 (262), (745)
 鈴木宙 (256)

T

多田潤也 (251)

高橋堅太郎 (263)
 高見正敏 (746)
 竹林弘 (251), (253), (261), (745)
 竹原秀雄 (748)
 竹内信一 1058
 田村春雄 (255), (743)
 田島由三 (262)
 陳春財 501
 富井直英 (750)
 島潟高城 267, 292, 315, 333, 352, 367,
 384, 395, 404, 417, 421
 豐田貞藏 22, 35, 44, 52, 64, 75
 津田潔 (263)
 角田英 (748)
 辻井敏 (258)
 趙英奇 733, 1048

U

上田正己 (263)
 内田金次郎 (253), (744)

W

涌島文雄 755, 766, 770, 775, 783, 788, 791
 渡邊三喜男 487, 728

Y

山田評吉 81, 109, 139, 154, 164, 176, 194
 山田憲吾 240, (257), (258), 506,
 615, 624, 723, 837
 八牧力雄 732
 柳坂文七 (744)
 保田岩夫 (738)
 安田謙靜 (255)
 安江高助 943, 956, 964, 980
 横田清雄 539, 557, 862, 870
 横田浩吉 (746)
 横山哲雄 (741)
 吉井直三郎 (262), (264), (745)
 吉武信 (250), (258), (740)
 油谷正經 (739)

Z

徐丙守

物件索引

太字……原著. 「イタリック」……臨床, 臨床と線學. 普通字……臨床瑣談,
臨床診斷と手術所見. ()……學會, 雜誌.

B

- 拇指3指節症……………(1070)
病竈感染……………(744)

D

- 打撃器具運動量……………93
大腸菌
——増容素……………446, 457
——「コクテゲン」……………826
大腿骨頸部骨折
——手術ト鞍狀管と線撮影法……………(254)
——最小切開三翼釘固定法……………(254)
第2型結合律……………808, 810
第3腦室
——ノ變化(閉塞性腦水腫)……………911
第4性病(直腸狹窄症)……………1058
脱心臓動術……………(1071)
電氣心動圖
胸廓成形術ト——……………804, 870
動脈瘤
腹部大——……………(262)
靜——……………1066
De Quervain 教授……………(877), (879)

G

- 外傷
交通——(統計)……………503
眼球突出(腦病變)……………(1066)
グロルマン氏法
——ニヨル心搏出量……………(1071)
凝集素
流血中動員——……………349, 350, 395

H

- 肺二口蟲
——ト腹部癭腫……………(1075)
肺臟
——抗體產生……………639
——抗體產生ト神經作用……………(260), 994
——能動免疫性……………693, 703
——切除(代償能力)……………(546)

- 破傷風……………(1063)
扁平足……………(1070)
皮膚
先天性——肉腫症……………234
皮下氣腫
外傷性汎發性——……………(253)
脾臟
單房性巨大——癭腫……………610, (750)
「フイステログラフイー」……………559
放射線
——ト「オブソニン」増強……………26—75
——好適照射條件……………71
「フマール」酸
——藥理作用……………★(738)
腹部
——大動脈瘤……………(262)
——癭腫……………(1075)
腹膜炎
結核性——……………(1065)
急性——……………(750)
穿孔性——(細菌性赤痢)……………(1073)
腹水(タルマ氏手術)……………(1072)
Hypernephrom
後腹膜性——(「ليم पेذين」現象)……………489

I

- 胃
——潰瘍面血管開口露出……………1045
——空腸吻合術……………(1072)
——十二指蟲潰瘍(胃切除範圍)……………(747)
——十二指腸潰瘍穿孔(手術統計)……………(1073)
胃腸
反射的——運動抑制中樞……………(749)
異物
鉛嚥性——摘出治驗例……………(746)
生體内金屬——探索裝置……………(250)
「イレウス」(腸閉塞症ノ部參照)
「ليم पेذين」現象
結核菌増容反應ト——……………918

N

長岡浩 (740)
 内藤義郎 (263), (744)
 中川博 (262), (745)
 中江實忠 (743)
 西田菊馬 (743)
 西村敏雄 (264)
 野々下民市 (738)

O

王和成 (264)
 大野健二 (251)
 小田源太郎 (260)
 小田茂 1055
 岡村一雄 (750)
 岡崎藤磨 (739), (742)
 鬼東惇哉 (747), 796, 812, 815, 820,
 823, 830, 918, 931
 苧坂直彦 585, (744)
 小澤凱夫 (256), (259)

R

李應冽 229, 234
 林仲琛 1049

S

Max Saegesser 877
 榮枝武雄 (252)
 佐藤陸平 (254)
 千頭英男 (260)
 薜承壇 (255)
 斯波貞行 (256)
 鹿嶋健次郎 (256)
 島田由三 (748)
 清水源一郎 (258)
 清水三郎 862, 870
 白石貞男 1053
 副島謙 (747), 1043
 菅野冬雄 (262), (745)
 鈴木宙 (256)

T

多田潤也 (251)

高橋堅太郎 (263)
 高見正敏 (746)
 竹林弘 (251), (253), (261), (745)
 竹原秀雄 (748)
 竹内信一 1058
 田村春雄 (255), (743)
 田島由三 (262)
 陳春財 501
 富井直英 (750)
 島湯高城 267, 292, 315, 333, 352, 367,
 384, 395, 404, 417, 421
 豊田貞藏 22, 35, 44, 52, 64, 75
 津田潔 (263)
 角田英 (748)
 辻井敏 (258)
 趙英奇 733, 1048

U

上田正己 (263)
 内田金次郎 (253), (744)

W

涌島文雄 755, 766, 770, 775, 783, 788, 791
 渡邊三喜男 467, 728

Y

山田評吉 81, 109, 139, 154, 164, 176, 194
 山田憲吾 240, (257), (258), 506,
 615, 624, 723, 837
 八牧力雄 732
 柳坂文七 (744)
 保田岩夫 (738)
 安田謙靜 (255)
 安江高助 943, 956, 964, 980
 横田清雄 539, 557, 862, 870
 横田浩吉 (746)
 横山哲雄 (741)
 吉井直三郎 (262), (264), (745)
 吉武信 (250), (258), (740)
 油谷正經 (739)

Z

徐丙守

物件索引

太字……原著. 「イタリック」……臨床, 臨床と線學. 普通字……臨床瑣談,
臨床診斷と手術所見. ()……學會, 雜纂.

B

拇指3指節症……………(1070)
病竈感染……………(744)

D

打撃器具運動量……………93
大腸菌
——矽容素……………446, 457
——「コクチゲン」……………826
大腿骨頸部骨折
——手術ト鞍狀筐と線撮影法……………(254)
——最小切開三翼釘固定法……………(254)
第2型結合律……………808, 810
第3腦室
——ノ變化(閉塞性腦水腫)……………911
第4性病(直腸狹窄症)……………1058
脫心瓣動術……………(1071)
電氣心動圖
——胸廓成形術ト——……………804, 870
動脈瘤
——腹部大——……………(262)
——靜——……………1066
De Quervain 教授……………(877), (879)

G

外傷
——交通——(統計)……………503
眼球突出(腦病變)……………(1066)
グロルマン氏法
——ニヨル心搏出量……………(1071)
凝集素
——流血中動員——……………349, 350, 395

H

肺二口蟲
——ト腹部囊腫……………(1075)
肺臟
——抗體產生……………639
——抗體產生ト神經作用……………(260), 994
——能動免疫性……………693, 703
——切除(代償能力)……………(546)

破傷風……………(1063)
扁平足……………(1070)
皮膚

——先天性——肉腫症……………234

皮下氣腫

——外傷性汎發性——……………(253)

脾臟

——單房性巨大——囊腫……………610, (750)

「フイステログラフィー」……………559

放射線

——ト「ロフソニン」増強……………26—75

——好適照射條件……………71

「フマルル」酸

——藥理作用……………★(738)

腹部

——大動脈瘤……………(262)

——囊腫……………(1075)

腹膜炎

——結核性——……………(1065)

——急性——……………(750)

——穿孔性——(細菌性赤痢)……………(1073)

腹水(「タルマ」氏手術)……………(1072)

Hypernephrom

——後腹膜性——(「イムペヂン」現象)……………489

I

胃

——潰瘍面血管開口露出……………1045

——空腸吻合術……………(1072)

——十二指蟲潰瘍(胃切除範圍)……………(747)

——十二指腸潰瘍穿孔(手術統計)……………(1073)

胃腸

——反射的——運動抑制中樞……………(749)

異物

——錯嚥性——摘出治驗例……………(746)

——生體內金屬——探索裝置……………(250)

「イレウス」(腸閉塞症ノ部参照)

「イムペヂン」現象

——結核菌矽容反應ト——……………918

後腹膜性 Hypernephrom ト	489
腫瘍ノ	2
肉腫ノ	4
癌腫ノ	11
咽頭腫	
悪性頭蓋	(744)
K	
壊血病	(741)
關節	
——炎(腸チフス ⁷)	(1069)
乾癬性——症	(255)
鱗屑癬性——症	(1069)
浣腸	
——液溫差(急性腹膜炎)	(750)
肝臓	
原發性——癌(骨轉移)	840
——破裂(鈍力ニヨル)	(734)
——硬變	(1072)
下肢	
戦傷——不全(補助器)	(254)
腱	
絹糸——固定術(橈骨神經麻痺)	(736)
血管	
——腫	(262)
血尿	
強度——ト蟲垂炎	(750)
血清	
——Lヒヨリン・エステルアゼ ⁷	(1064)
——過敏症トLウ ⁷ P	(251)
結核	
肺——症, 横隔膜運動	544
肺——症, 氣管支ノ變化	566, 570
胸膈——	(1072)
——性腹膜炎	(1065)
——性淋巴腺腫(腺内注射療法)	(740)
——性肋膜炎	(1048)
——性脊椎炎注法膿瘍(統計)	625
腰椎體——病癥	(1067), (1068)
結核菌	
牛型——	1034
結核菌増容反應	
——トLイムベヂン ⁷ 現象	918
抗結核菌血清量ニヨル——	920

家兎及び馬血清ニヨル——	921
原・煮兩——	922
菌煮沸時間ニヨル——	923
純正分離抗體液ニヨル——	925
人型——	926
抗結核菌家兎血清ト——	928
結核菌増容素	
正常及び代償性肺ノ抗——	639
正常肺ノ抗——	642
代償性肺ノ抗——	645
正常肺ノ產生抗——, 時間的推移	650, 660
代償性肺ノ產生抗——, 時間的推移	671, 672, 680
結腸	
——周圍炎膜様物質(Rosenstein氏様症狀)	574
——癌(Lイレウス ⁷)	(730)
氣道	
經——免疫	(744)
氣管支	
——變化(陳舊性膿胸)	565, 567
——瘻	570
——喘息	(260)
——造影法	558
筋炎	
外傷性限局性化骨性——	(253)
化骨性——(腸チフス ⁷)	(1069)
筋肉	
——充填法(骨膜炎後死腔)	733
菌種特殊性	
L.m.r. 感染豫防作用ト——	139
產生抗體ト——	713
既往反應	
同名及び異名——	176, 194, 402, 727
血中増容素ト——	214
——ト能動免疫性	693, 703
睾丸	
經——免疫	463, 467, 476
——腺癌	229
——中抗體產生	446
——内抗黃・葡・菌増容素產生	805—830
抗體	
——動員作用	476
肺臓内——產生	639
純正分離——液	925

血中動員——	136, 175
血中及び細胞内——	424
睾丸内——產生	446, 835
細胞内動員——	161, 164
產生——ト菌種族特殊性	713
神經作用ト——產生	(260), 994
特殊——	768

L コカイン¹

急性——中毒	(739)
--------	-------

交感神經

——作用遮斷ト増容素產生	1007, 1021, 1035
--------------	------------------

骨

——軟化症	1050
——軟骨腫	(1067)
先天性化——不全症	(741)
足根部——癒合	(743)

骨膜

側頭窩——炎	1053
蛋白性——炎	(255)

骨折

——(腎石症)	(744)
大腿骨頸部——	(254)
子宮内下腿——	(255)
足部——(統計)	(255)
陳舊性椎骨——(椎骨固定法)	(258)

骨髓炎

化膿性——(L ¹ ウ ¹ C消耗)	497
急性化膿性——	731
——後死腔筋(肉充填法)	733

甲狀腺

——機能トL ¹ ビロカルピン ¹ 破壞物質	(252)
--	-------

空腸

——憩室	(1075)
------	--------

L クロナクシ¹

癲癇ノ——	
急性腹膜炎ト植物性神經系統ノ——	(1074)
胸圍結核	(1072)

胸廓成形術

——, 横隔膜・肋骨運動	541, 547
——, 氣管支ノ變化	571
——, 電氣心働圖	864, 870

L

Locus minoris resistentiae	91, 109, 139, 154, 194
----------------------------	------------------------

L.m.r. ~~抗感染力~~

——時間的推移	109
——, 菌種族特殊性	139
——, 免疫元軟膏最適貼用時間	154
——發生機轉ト消長	160
——, 同名・異名既往反應	194

M

L マラリヤ¹

輸血ニヨル——感染	(1064).
-----------	---------

L マストパチー¹

迷走神經	
------	--

——作用遮斷, 増容素產生	1014, 1037
---------------	------------

免疫

皮下注射——	267, 292, 349
自動——獲得程度	176
經靜脈——	467
經氣道——(實驗)	(744)
經肛——	283
經睾丸——	463, 467, 476
——效果	352, 367
後天性——獲得期間	284
——睾丸	830
局所性及び全身性——	91
内服——	350
軟膏——	176, 194
能動——	693, 703
淋菌L ¹ コクチゲン ¹ 軟膏——	762
最大全身——程度	292, 315, 333
全身——	383
——前處置	91

免疫元

——靜脈注射	109
——睾丸實質内注射	812, 820
——軟膏	139, 154
——能動力	779
煮沸——	989
——, 用量ト效果	783

L メニスクス¹

——損傷	(743)
------	-------

ミロン氏反應

尿——	(252)
門靜脈周圍炎(蟲垂炎)	(751)

L モルヨドール¹

- ・空氣腦室撮影……………898, 915
- 注入ト全身の影響……………895
- 矛盾性共同偏視……………(1066)

N

軟骨

- 粘液腫……………732
- 腫(舌内)……………(1067)

粘液腫

- 軟骨——……………732
- 脂肪——……………(744)

肉腫

- Lイムペチン 現象……………4
- 細網——……………(1044)
- 先天性皮膚——病……………234

 Lニコチン 酸

- 小腸・肝臓への影響……………(1065)

腦

- 病變……………(1066)
- 腫瘍……………(1066)
- 閉塞性一水腫……………911
- 矢狀溝外腫瘍……………724

腦室

- 液……………892
- 系通過障害……………898
- 穿刺……………892
- 側——……………899
- 撮影法……………(259), 890, 898, 915
- 像……………899, 907

腦膜

- 急性化膿性——炎……………(744)

膿胸

- 遺殘死腔(横隔膜運動)……………543
- 肺炎菌——……………(1072)
- 急性——, 排膿法……………(261)
- 陳舊性——, 横隔膜・肋骨運動……………541, 544
- 陳舊性——, 氣管支像……………558, 565, 567
- 陳舊性——, 電氣心動圖……………564, 570
- 陳舊性——, 洗滌……………541, 546

癭腫

- 腹部——……………(1075)
- ト空腸憩室……………(1075)
- 單房性巨大脾臓——……………610, (750)
- 特發性總膽管——……………(748)

- 腸間膜——(L 線診斷)……………721
- 卵巢——(破裂)……………(1074)

尿

- ミロン氏反應……………(252)
- 中 L デアスターゼ……………932

O

 L オプソニン

- 直腸壁層特殊——……………417
- 肺臓内——増強……………956
- 放射線ト——増強……………26
- 検査法……………951
- 血中——増強……………964
- 血中產生最大抗淋菌——値……………733
- 血中特殊——產生……………421, 770, 788
- 局所皮内產生特殊——……………762, 766
- 局所組織内——増強……………950
- 最大——係數……………964
- 組織細胞内特殊——……………404
- 嘔吐(實驗)……………(263)
- 横隔膜

- 癰癤……………(746)
- 矛盾運動……………546
- 神經遮斷ト増容素產生……………1028
- 神經捻除術……………553
- ・肋骨運動(陳舊性膿胸)……………541, 544

黄色葡萄狀球菌 L コクチゲン

- , 經肛免疫……………404, 421
- 睾丸内注射……………805, 815

黄色葡萄狀球菌増容素

- 睾丸内——……………805, 823
- 家兔肺實質内——……………994, 1001

P

 L ピロカルピン L 破壊物質

- ト甲状腺機能……………(252)

Pneumo-Moljodol Ventrikulographie……………915

Praehallux……………(255)

R

 L ラドン L 軟骨……………75

卵巢

- 癭腫(破裂)……………(1074)

連鎖狀球菌 L コクチゲン……………826 L 線

- 鞍狀管——撮影……………(254)

外科の疾患ノ——診断	719
——發生及ビ照射裝置	28
表皮——照射	980
——「キモグラフィ」	541
——照射「ト」オブ「ソニン」	950, 956, 964
淋菌	
——「コクチゲン」軟膏	762, 791
——「ワクチン」軟膏	775
淋巴	
——管内被細胞腫(直腸狭窄)	(727)
結核性——腺腫(腺内注射療法)	(740)
「ロイマチス」	(1066)
肋膜	
結核性——炎	(1048)
Rosenstein 氏様症状	
——「ト」結腸周圍炎性膜様物質	574
S	
三叉神經	
——痛	(1049)
Sarcomatosis	
Reticulosarkom 「ヲ」混在セル——	(1044)
赤外線	
——「ト」オブ「ソニン」	44
赤痢	
細菌性——	(1073)
背椎	
——炎(腸「チ」フス「」)	(1069)
——「カリエス」, 吾國ノ氣候	(1069)
結核性——炎流注膿瘍(統計)	625
——砂時計腫	(253)
背椎管	
腰部——内靜脈瘤	506
背髓	
——瘍腫	1060
——横斷麻痺	605
薦骨	
——麻痺(麻痺油劑)	(747)
紫外線	
——「ト」オブ「ソニン」	35
心臓	
房室瓣狹窄(實驗)	(745)
脱心纖維術	(1071)
電氣心動圖	864, 870

急性——死(實驗)	(1071)
心房波異常	867
心搏出量(「グロルマン」氏法)	(1071)
心筋障害	869
心臓電氣軸異常	866
僧帽瓣閉鎖不全	(262)
右心室優勢	867
神經	
——作用「ト」抗体產生	994—1034
——外科ノ電氣診斷學の注意	(745)
膝彈發現象(臨床の意義)	(1070)
足	
——部骨折(統計)	(255)
——根部骨癒合	(743)
側頭窩骨膜炎	1053
Styloideus-schmerz	(742)
脾臓	
外傷性急性——壊死	(264)
慢性——炎	1056
小腸	
——穿孔, 二次の病變	1073
消毒劑	
——「ト」白血球喰菌作用, 喰儘細胞	512
消化管	
——畸形	(501)
觸覺計	(250)
喰菌作用	
白血球——(消毒劑)	512
喰儘細胞(消毒劑)	512
T	
短波	
單——發生裝置	(738)
膽	
——汁瘻(「レ」線注療)	(264)
——石——囊炎(解剖統計)	(748)
タルマ氏手術	(1072)
低壓	
——, 實驗的研究	(1063)
——, 肺循環	(1071)
轉移	
肝臓癌骨——	840
——性急性背髓硬膜外膿瘍	587
等電位點	

直腸癌及ヒ腺腫細胞ノ——測定	(751)
套管針	(261)
撓骨神經麻痺	
—— L バグノン I 注射治験例	(256)
——絹糸腱固定術	(736)
L トマト汁	
——, 腸管吸収	(1065)
糖尿病	(253)
椎間板	
——後方脱出症	(257), 723, (1068)
椎骨	
陳舊性——骨折(椎骨固定法)	258
腸	
——重積脱出症(特ニ總腸間膜)	(263)
腸閉塞症	
——, (實驗)	(263)
結腸癌ニヨル——	730
十二指腸——	501
腸間膜	
——囊腫(L 線診断)	721
腸骨	
——窩膿瘍(切開搔爬療法)	(740)
腸 L チフス I	
——ト關節炎, 脊椎炎, 化骨性筋炎	(1069)
腸 L チフス I 菌 L コクサチゲン I	
——全身免疫獲得程度	281
——流血中動員凝集素	395
——ト L ワクチン I ノ比較	292, 315, 333, 384
腸 L チフス I 菌 L ワクチン I	352, 397
腸運動	
頸部, 胸部ニ於ケル諸操作ト——	(263)
失血補給液ト——	(749)
超短波	
——, 流血中 L オプソニン I 増強	52
直腸	
——癌(等電位差點)	(751)
直腸狭窄症	
淋巴管内被細胞腫ニヨル——	727
第4性病ニヨル——	1058
蟲垂炎	
強度血尿ヲ伴ヘル——	750
假性——ト條蟲	(751)
門靜脈周圍炎ト——	(751)

小兒——(統計)	(262)
——トシユロツフェル氏腫瘍	(1075)

V

 L ビタミン I

化膿性骨髓炎ト——C消耗	497
血清 L アセチール・ヒヨリン I 分解ト L ウ I B I , C	(251)
血清過敏症ト——P	(251)

X

Xanthom

汎發性——	(743)
-------	-------

Y

矢狀溝外腫瘍(診断)	724
沃度油腦室撮影法	(259), 890, 899
腰部	
——脊椎管内靜脈瘤	506
腰椎體	
——後面邊緣隆起像	616
——結核病髓侵襲術式	(1067)
——結核病髓廓清術ト赤沈	(1068)
腰髓	
——麻醉劑(作用時間)	(747)
輸血	
——統計	(251)
——, L マラリヤ I 感染	(1064)
輸尿管	
——開口ト膽石膽囊炎(解剖統計)	(748)
特發性——囊腫	(748)

Z

 L デアスターゼ I

尿中——ト耳下腺損傷	932
人尾	(250)
腎石症	
骨折ト骨手術後ノ——	(744)
腎臓	
——腫	728
増容反應	214, 824, 826, 829
結核菌——	918
血清——	467, 831
増容素	
大腸菌——	446, 452, 455, 457
——動員能力	830
血中——產生	463, 815, 820
——ト既往反應	194, 214

- 舉丸内——806, 812, 830
 舉丸内最大——452, 455
 抗結核菌——639, 650, 671
 抗黃・葡・菌——994, 1001
 神經作用ト——產生(260), 1007
 ——推移832
- 頭蓋
 惡性——咽頭腫(744)
 側頭窩骨膜炎1053
- ズルフオン・アミド⁷劑
 ——間計的應用(739)
 ——局所作用(739)
- 糖代謝ニ及ボス影響(1065)
 除菌率(消毒劑)515
 條蟲
 ——ト假性蟲垂炎(751)
 靜脈瘤
 動. ——(循環調節能)(1066)
 腰部脊椎管内——506
- 十二指腸
 ——閉塞症501
 若年者ノ——潰瘍505
 ——破裂(鈍力ニヨル)734
 ——移動症(746)

Sachregister (Band XVIII, 1941)

〔本索引ハ歐文論文抄録ノミヨリ抄録ス〕

A

Adenocarcinoma	
— of Testicle	229
Agglutinine	
im Blute mobilisierten —	275
spezifisches —	268, 269, 270
Zunahme des —	947
Anamnestiche Reaktion	
heterologen u. homologen —	86
— in der Lunge	635, 636
Anorektale präventive Vorbehandlung	276, 278
Antigen	
Amount of —	436
Antigokokken opsonine	757
Antinfektiösekräfte	944
Antinfektiöse Widerstände	943
Antikörper	84
— auslösung in der Lunge	989
— in der Lunge	632
gegen Tb-baz. gerichteten —	633, 634
neubildeten —	945
Antiseptica	511
Artspezifität	
— der antiinfektiösen Wirkung	83
— des Agglutinins	275
— des Opsonins	759
— des Voluminins	636, 800

B

Brustfelleiterung	
veraltete —	539, 557
veraltete —, Spülung	539

C

Colon Bacillus	
Anti—	433, 437

D

Diastase	
----------	--

— im Urin	931
-----------------	-----

E

Elektrokardiogramm	862
Epiduralabszess	
akute spinale —	585

G

Gonokokken	
— koktigensalbe	755, 756, 759

H

Haut	
—, antiinfektiösen Widerstände	83
Hydrocephalus	
obstruktiver —	889
Hypernephrom	
retroperitoneales —	487

I

Immunisierung	
anorektale —	267, 269, 271, 272, 277
— des Hodens	796
Injektions —	267, 268
jejunaie —	270
—s methode	760
orale —	270
salben —	757
Immunität	
aktive erworbene —	84, 802
allgemeine aktive —	273
autochthone passive —	84, 88
Gewebs —	81
lokale —	84
Serum —	81
Immunity	
— Through Testicular Injection	439
Immunization	
Reaktivität of —	443
Immunogen	81

— dosis	753
— praeparate	757, 758
Wesen des mikrobiotische —	271, 272
Impedinerscheinung	487, 898
Impedinphenomena	
— of Tumors	1
Infantile Congenitale Skin Sarcomatosis	234
Infektion	
homologe —	81
Staphylokokken —	81
tuberculöse — der Lunge	992

J

Jodventriculographie	885
----------------------------	-----

K

Knochenmetastase	
— bei Leberkrebs	837
Koktigen	
Gonokokken — salbe	755, 756, 757
— intra testiculare Einyerleibung	797, 799
Staphylokokken —	989
— von Tb-bazillen	268, 269, 270

L

Leberkrebs	
—, Knochenmetastase	837
Lendenwirbelkörper	
die hinter Randwülste des —	615
Liquorwege	
ausschliessende —	888
Locus minoris resistentiae	81
Lunge	
röntgen bestrahlter —	944

M

Mastopathie	240
Membranschmerz	575
Mesenterialdruckschmerz	574
Moljodol	
— intra bronchiale Einspritzung	557
— Ventriculographie	887

N

Nelatonsche Kathether	267
-----------------------------	-----

Nerven

—, Einfluss auf die Antikörperauslösung ...	989
N. phrenici	
Abtrennung des —	992
N. vagi	
Abtrennung des —	991

O

Opsonin

Antigonokokken — e	757
— auslösende Wirkung	22
— gegen Gonokokken	755, 759
homologen —	277, 278, 757
maximale —	756, 758, 760
spezifischen —	276

Opsoninkräfte

Erhöhung der —	945
Nachweis der —	944
Zunahme der —	943

P

Parotisdrüse

Verletzungen der — (Diastase im Urin) ...	931
Phagocytose	511
Phrenicosympathektomie	493
Phrenicuxairese	539
Pneumo-jodventriculographie	886, 889
Pyothorax	
veraltetes —	862

R

radioaktive Strahlen

—, die Opsonine auslösende Wirkung	22
--	----

Rippe

—nbewegung (veraltete Brustfelleiterung) ...	539
--	-----

Röntgen

— durchleuchtung (Ventrikel)	886
— bestrahlung	943
— kymographie (veraltete Brustfelleiterung) ...	539
— photographie (Ventrikel)	886

Rosenstein

— ähnliches Symptom	574
— inversus	574

S

Sarkomatosis	
Infantile Congenital Skin —	234
Seitenventrikel	887
Senkungsabszess	
— bei Spondylitis tuberculosa	624
Spondylitis tuberculosa	624
Staphylokokken	81
— koktigen	796
— piogenes aureus	789, 796
Sympathischer Ganglion	
Abtrennung d. Cervicothoracalen —	990
Sympathische Nerven	
Abtrennung der —	991

T

Thorakoplastik	539, 862
Testicular Extrakt Solution	433
Testis	
Antibodies in the —	433
Tuberkelbazillen	633, 919
— des Typus bovinus	992
— koktigen	275
Tumor	
The Impedinphenomena of —s	1

V

Vaktin	
--------	--

Gekochtes — zentrifugat	272
Medium Kokto—e	272
— von Typusbazillen	268, 269, 270

Ventrikel	
der III. —	888
Seiten —	889
Ventrikulographie	885, 887, 889
Volumination	
Amount of —	439
Anti-Colon Bacillus —	433, 437
— in der Lunge	632
maximum —	435, 436
Serum —	440
spezifische —	86
— von Tb-baz.	918

Voluminin	
— bei der anamnestischen Reaktion	636
gegen Staphy. pio. gerichtete —	796
— im Blute	799
— im Hoden	796, 797, 800
maximales —	989
spezifisches —	989, 990, 991
Zunahme des —	799, 947

Z

Zwerchfellbewegung	
—, veraltete Brustfelleiterung	539

Inhaltsverzeichnis

(Ausgegeben 1941)

ORIGINAL

Joh, H., The Impedingphenomena of Tumors in the Human Body.....	1
Toyoda, T., Ueber die Opsonine auslösende Wirkung radioaktiver Strahlen.	22
Yamada, H., Erforschung über die Unterschiede sowie den Zusammenhang zwischen der lokalen Gewebsimmunität und der allgemeinen Gewebs- und Serumimmunität; u. z. im Lichte der präventiven Erfolge des in der Subkutis hergestellten Locus minoris resistentiae gegen die experimentelle Staphylokokkeninfektion.	
I. Vergleich der lokalen Salbenimmunisierung mit der iv. Einverleibung desselben Immunogens in der Erwerbung der lokalen Widerstände gegen die homologe Infektion.	81
II. Die zeitliche Verschiebung antiinfektiöser Widerstände des L. m. r. bei den iv. immunisierten Kaninchen.	82
III. Ueber die Artspezifität der antiinfektiösen Wirkung von L. m. r. bei der salbenimmunisierten Kaninchen.	83
IV. Wie lange muss die Haut zur Gewinnung der grössten antiinfektiösen Wider- stände des L. m. r. salbenimmunisiert werden?.....	83
V. Ueber die Generalisierung der lokalen Immunität, i. e. die humorale Ver- allgemeinerung der in der immunisierten Haut zellular erzeugten Antikörper.	84
VI. Ueber den Nachweis der aktiv erworbenen Immunitätsgrades in der salben- immunisierten, sowie nicht vorbehandelten Haut bei ein und demselben Tiere.	84
VII. Studien über die antiinfektiösen Widerstände des L. m. r. in der salben- immunisierten resp. der normalen Haut im Lichte der heterologen und homologen anamnesticen Reaktion sowie der spezifischen Volumination betreffend die Blutsera.	86
Matsumiya, N. and Lee, O., One adenocarcinoma of Testicle.	229
Lee, O. and Matsuyama, N., Case Report of Infantile Congenital Skin Sarcomatosis.	234
Yamada, K., Drei Fälle von Mastopathie.	240
Torikata, T., Erforschung über die anorektale Immunisierung.	
I. Vergleich der Injektionsimmunisierung mit der anorektalen.	267
II. Ueber den mittels des Kocktogens bzw. der Vakzine von Typhusbazillen erreich- baren maximalen Titer des spezifischen Agglutinins bei der Injektionsimmuni- sierung.	268
III. Ueber den mittels des Kocktogens bzw. der Vakzine von Typhusbazillen erreichbaren maximalen Titer des spezifischen Agglutinins bei der anorektalen Immunisierung.	269

IV. Ueber den mittels des Kocktogens bzw. der Vakzine von Typhusbazillen erreichbaren maximalen Titer des spezifischen Agglutinins bei der jejunalen Immunisierung.	270
V. Ueber das Wesen der mikrobiotischen immunogenen Substanzen im Lichte der anorektalen Immunisierung.	271
VI. Weitere Erforschung über das Wesen des mikrobiotischen Immunogens im Lichte der anorektalen Immunisierung.	272
VII. Wie lange geht es, bis die allgemeine aktive Immunität durch die anorektale präventive Vorbehandlung gewonnen worden ist?	273
VIII. Ueber die Artspezifität des im Blute mobilisierten Agglutinins bei den mit dem Typhusbazillenkocktigen anorektal vorbehandelten Individuen.	275
IX. Ueber die intrazelluläre Erzeugung des spezifischen Opsonins im Anschluss an die anorektale präventive Vorbehandlung.	276
X. Wo wird das homologe Opsonin in der Rektumwand bei der anorektalen Immunisierung produziert?	277
XI. Ueber die Verschiebung des homologen Opsonins im Blute der Versuchstiere; u. z. im Anschluss an die anorektale Vorbehandlung.	278
Kokk, P. K., The Production of Anti-Bodies in the Testis.	
I. The Production of Anti-Colon Bacillus Volumination in the normal Testis....	433
II. The Determination of the Time in which maximum Volumination is produced in the Testis.	435
III. The Determination of the Amount of Antigen which is needed to produce maximum Volumination in the Testis.....	436
IV. The Specificity of Anti-Colon Bacillus Volumination in the Testis.	437
V. The Amount of Volumination produced in the Blood by the Immunity given through testicular Injection.	439
VI. Comparison of Serum Volumination produced by Injection through Vein and Testis.	440
VII. Reactivity of Immunization in Animals previously immunized through testicular Injection.	443
Watanabe, M., Über einen Fall von retroperitonealem Hypernephrom, insbesondere über den Nachweis seiner Impedinerscheinung.....	487
Fujiwaka, J., Über die normale Phagozytose von Erregern verhin- dernde Wirkung verschiedenartiger Antiseptica, nebst dem optimalen Zusammenwirken der Phago- zy- tose mit einem Antisepticum in der Chirurgie.	511
Yokota, K., Über die Rippen- und Zwerchfellbewegung im röntgenkymographischen Bewegungsbild bei veralteten Brustfelleiterungen, sowie über den Einfluss der Spülung, der Thorakoplastik und der Phrenicusexstirpation auf sie.	539

Yokota, K., Ergebnis bei intrabronchialer Einspritzung von Moljodol bei veralteter Brustfelleiterung.	557
Matsuda, M., Über ein dem Rosensteinschen Mesenterialdruckschmerz ähnliches Symptom und seine chirurgische Bedeutung.	574
Osaka, N. u. Honjo, K., Drei Fälle von metastatischem akuten spinalen Epiduralabszess.	585
Yamada, K., Ueber die hinteren Randwülste des Lendenwirbelkörpers.	615
Yamada, K., Ueber die Prognose der Senkungsabszesse bei Spondylitis tuberculosa.	624
Itikawa, H., Untersuchung über die in der kompensatorisch funktionierenden Lunge erzeugten Antikörper gegen Tuberkelbazillen.	
I. Nachweis der in der gesund und kompensatorisch funktionierenden Lunge erzeugten Antikörper mittels der Volumination.	632
II. Über die zeitliche Verschiebung der Erzeugung der gegen Tuberkelbazillen gerichteten Antikörper in der gesund funktionierenden Lunge.	633
III. Über die zeitliche Verschiebung der Erzeugung der gegen Tuberkelbazillen gerichteten Antikörper in der kompensatorisch funktionierenden Lunge.	634
IV. Über die anamnestiche Reaktion gegen Tuberkelbazillen in der gesund funktionierenden Lunge.	635
V. Über die anamnestiche Reaktion gegen Tuberkelbazillen in der kompensatorisch funktionierenden Lunge.	636
VI. Über die Artspezifität der bei der anamnestiche Reaktion erzeugten Volumine.	636
Wakushima, F., Die immunisatorische Erforschung mit der Gonokokkenkoktigensalbe.	
I. Mitteilung. Nachweis des gegen Gonokokken gerichteten Opsonins in der mit der Gonokokkenkoktigensalbe vorbehandelten Haut.	755
II. Mitteilung. Ueber die optimale Applikationszeit der Gonokokkenkoktigensalbe für die maximale Erzeugung des homologen Opsonins in der betreffenden Haut.	756
III. Mitteilung. Nachweis des Antigonokokkenopsonins im Blutserum des salbenimmunisierten Individuums.	757
IV. Mitteilung. Ueber den Vergleich verschiedener Immunogenpräparate in der Erzeugung des homologen Opsonins im Blute; u. z. bei der Salbenimmunisierung.	757
V. Mitteilung. Ueber das Verhalten zwischen dem immunisatorische Erfolge und der Immunogendosis sowie den Vergleich verschiedener Immunogenpräparate aus Gonokokken in ihren maximal erzeugten Opsoninmengen.	758
VI. Mitteilung. Ueber die Artspezifität des durch die Gonokokkenkoktigensalbe ausgelösten Opsonins im Blutkreislaufe.	759
VII. Mitteilung. Vergleich der Immunisierungsmethoden bei den dadurch erworbenen maximalen Opsoninmengen.	760

Onitsuka, A., Erforschung über die Immunisierung des Hodens betreffend das gegen Staphylococcus pyogenes aureus gerichtete Voluminin.	
I. Mitteilung. Die Erzeugung des Voluminins im Hoden durch die intratestikuläre Einspritzung des Staphylokokkenkoktigens.	796
II. Mitteilung. Das Verhalten der im Hoden zu produzierenden Menge des Voluminins zu der des intratestikular einzuspritzenden Koktigens.	797
III. Mitteilung. Nebeneinanderstellung der im Blute ausgelösten Volumininmengen bei der iv. resp. der intratestikulären Einverleibung des Koktigens.	799
IV. Mitteilung. Ueber die Ursache der Volumininzunahme im allgemeinen Blutkreislaufe bei der intratestikulären Einverleibung des Koktigens.	799
V. Mitteilung. Ueber die Artspezifität des im vorbehandelten Hoden nachweisbaren Voluminins.	800
VI. Mitteilung. Nachweis der aktiv erworbenen Immunität vorbehandelter Hoden.	802
Yamada, K., Ein Fall von Knochenmetastase bei primärem Leberkrebs.	837
Shimizu, S. und Yokota, K., Über das Elektrokardiogramm bei veraltetem Pyothorax und der Einfluss der Thorakoplastik auf dieses.	
I. Mitteilung. Über das Elektrokardiogramm bei Kranken mit veraltetem Pyothorax.	862
II. Mitteilung. Über den Einfluss der Thorakoplastik auf das Elektrokardiogramm bei Kranken mit veraltetem Pyothorax.	862
Asano, Y., Erfahrungen über die Jodölventrikulographie.	
I. Mitteilung. Allgemeine Bemerkungen.	885
Onitsuka, A., Ueber die Impedinerscheinung bei der Volumination von Tuberkelbazillen.	918
Onitsuka, A., Ueber das Auftreten der Diastase im Urin bei traumatischen sowie pathologischen Verletzungen der Parotisdrüse.	931
Yasue, T., Die Röntgenbestrahlung zur Erhöhung der lokalen sowie allgemeinen antiinfektiöse Widerstände.	
I. Mitteilung. Die Zunahme der Opsoninkräfte in den Presssäften der röntgenbestrahlten Gewebe.	943
II. Mitteilung. Der Nachweis der zugenommenen Opsoninkräfte in den röntgenbestrahlten Lungen.	944
III. Mitteilung. Die Erhöhung der Opsoninkräfte im ganzen Blutkreislaufe durch eine lokalisierte Bestrahlung eines Gliedes. Ueber die Generalisierung der in den röntgenbestrahlten Gewebszellen neugebildeten Antikörper auf den ganzen Körper.	945
IV. Mitteilung. Die Zunahme der Agglutinine sowie der Voluminine im zirkulierenden Blute, u. z. herbeigeführt durch eine lokalisierte Bestrahlung eines Gliedes.	947

Kogame, M., Über den Einfluss der Nerven auf die Antikörperauslösung in der Lungen.

- I. Über die Menge des Staphylokokken-Koktogens für die Auslösung der maximalen betreffenden Volumininmenge in der Lunge. 989
- II. Die zeitliche Verschiebung der Erzeugung des spezifischen Voluminins in der Lunge. 989
- III. Über die Erzeugung des spezifischen Voluminins in der nach Abtrennung des cervikothorakalen sympathischen Ganglions funktionierenden Lunge. 990
- IV. Über die Erzeugung des spezifischen Voluminins in der nach Abtrennung des N. vagi funktionierenden Lunge. 991
- V. Über die Erzeugung der spezifischen Voluminins in der nach gleichzeitiger Abtrennung des N. vagi sowie der sympathischen Nerven funktionierenden Lunge. 991
- VI. Über die Erzeugung des spezifischen Voluminins in der nach Abtrennung der N. phrenici funktionierenden Lunge. 992
- VII. Über den Einfluss der Nerven auf die tuberkulöse Infektion der Lunge. 992

投稿規定

- 本誌は毎年1月、3月、5月、7月、9月及び11月の1日に發行す。
- 原稿は歐文、和文、何れにてもよし。和文原著には歐文表題歐文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく歐文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中、固有名詞はすべて固有の文字を、又數字はすべて羅馬數字を使用せられたく、又「センチメートル」は厘を、「グラム」は瓦を、立方「センチメートル」は耗を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫、曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。歐文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して8頁迄は無代なるも、それ以上は1頁につき、實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。8頁以上の原稿にても、これを1回8頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも、急を要せらるゝ向は、特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て、別刷御希望の方は、御寄稿と同時に特に附言せられたく、30部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室、外科寶函編輯室宛、御送附下されたし。

日本外科寶函	定價	⑤ 一 部 一 年 分	金壹圓貳拾錢 金六 圓	郵 稅 不 要 郵 稅 不 要
		會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ		
	廣告料	普 通 面 特 別 面 表 紙 綴 込 廣 告 料	一 頁 一 頁 一 頁 一 枚	金 拾 參 圓 金 貳 拾 圓 金 參 拾 圓 金 拾 五 圓

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十六年二月廿五日印刷
昭和十六年三月一日發行

京都市左京區聖護院中町四
編輯兼發行者 中 田 寬 治
京都市中京區柳馬場通三條南入
印 刷 者 福 井 松 之 助
京都市中京區柳馬場通三條南入
印 刷 所 株 式 會 社 似 玉 堂
京都帝國大學醫學部外科學教室

發 行 所 日本外科寶函編輯室
(猪子・伊藤兩教授記念會)
振替口座京都 3691 番

東京市本郷區春木町三丁目
賣 捌 所 南 江 堂 書 店
電話小石川三五一〇・振替東京一四九
京都市中京區寺町通御池南
同 南 江 堂 京 都 支 店
電話本局二〇三〇・振替大阪一一五〇五
京都市丸太町通河原町東入
同 國 井 書 店
電話上二九九七・振替大阪一七二七七

投稿規定

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月及び11月の1日に発行す。
- 原稿は欧文, 和文, 何れにてもよし。和文原著には欧文表題欧文抄録及び内容抄録(和文)を添附せられたく 欧文原著には和文表題及び必ず和文抄録を添附せられたし(臨床原著も之に準ず)。
- 原稿の用語中, 固有名詞はすべて固有の文字を, 又数字はすべて羅馬数字を使用せられたく, 又「センチメートル」は「cm」を, 「グラム」は「g」を, 立方「センチメートル」は「cc」を使用せられたし。
- 原稿中の挿畫, 曲線等は必ず原稿紙以外に更に別紙として墨汁又は製圖用「インク」にて書かれたし。欧文は「タイプライター」を使用せられたし。
- 原稿掲載して8頁迄は無代なるも, それ以上は1頁につき, 實費に準じて金5圓也以内を申受く。又附圖別表等の印刷はその實費を申受く。8頁以上の原稿にても, これを1回8頁宛に分割して掲載する事を承認せらるゝ場合は無代とす。
- 原稿の發表は到着順によるも, 急を要せらるゝ向は, 特別掲載料として1頁につき金5圓也以内の實費を申受け直ちに發表致すべし。
- 執筆者に於て, 別刷御希望の方は, 御寄稿と同時に特に附言せられたく, 10部迄は無代贈呈致すべきもそれ以上は但し最高50部實費を申受く。
- 原稿は京都帝國大學醫學部外科學教室, 外科寶函編輯室宛, 御送附下されたし。

日本外科寶函	定價	部	金壹圓貳拾錢	郵税不要
		一ヶ月分	金六圓	郵税不要
		會員ニシテ會費滞納ノ場合ニハ雜誌ノ配布ヲ停止ス		
		會員外ニシテ本誌講讀希望ノ方ハ直接本會又ハ賣捌所宛ニ申込マルベシ		
廣告料	普通面	一頁	金拾參圓	
	特別面	一頁	金貳拾圓	
	表紙	一頁	金參拾圓	
	緩込廣告料	一枚	金拾五圓	

廣告取扱 大阪市東區京橋三 福田商店廣告部

昭和十六年十月廿五日印刷
昭和十六年十一月一日發行

編輯兼發行者 青 柳 安 誠
 京都市中京區柳馬場通三條南入
 印刷者 福 井 松 之 助
 京都市中京區柳馬場通三條南入
 印刷所 株 式 會 社 似 玉 堂
 京都帝國大學醫學部外科學教室

發行所 日本外科寶函編輯室

(烏鴻博士還曆祝賀記念)
 振替口座京都 3691 番
 日本出版文化協會 會員番號22221番

東京市神田區淡路町二丁目九番地
 配 給 元 日本出版配給株式會社
 東京市本郷區春木町三丁目
 賣 捌 所 南 江 堂 書 店
 電話小石川三五一〇・振替東京一四九
 京都市中京區寺町通御澁南
 同 南 江 堂 京 都 支 店
 電話本局二〇三〇・振替大阪一一五〇五
 京都市丸太町通河原町東入
 同 國 井 書 店
 電話上二九九七・振替大阪一七二七七